

信金中央金庫の「SCBふるさと応援団」に大阪府を推薦

～「脱炭素対応新事業展開モデル創出支援事業」で地域の中小企業を伴走支援～

大阪シティ信用金庫（本店 大阪市、理事長 高橋知史）は、信金中央金庫の企業版ふるさと納税を活用した「SCBふるさと応援団(※)」に、大阪府の「脱炭素対応新事業展開モデル創出支援事業」を推薦しました。それにより信金中央金庫からの1,000万円の寄付が決定し、令和4年7月25日(月)、今般の寄付に対する感謝状の贈呈式が大阪府庁にて大阪府、信金中央金庫、大阪シティ信用金庫の三者で執り行われました。

当金庫が推薦した事業は、大阪府から選定されたブランディングの専門家が、脱炭素・SDGsをテーマとした新事業展開を目指す中小企業のブランディングを支援する事業です。

当金庫は、今後も大阪府との連携を緊密に図り、本事業を通して、脱炭素・SDGs対応を踏まえた中小企業の事業再構築や新事業展開に対する支援をより一層推進していきます。

※「SCBふるさと応援団」とは、信金中央金庫の創業70周年記念事業として創設された地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）の仕組みを活用した「地域創生推進スキーム」で、全国各地の信用金庫とともに地方自治体の地域事業を支援する地域創生事業です。



大阪府庁での大阪府、信金中央金庫、大阪シティ信用金庫三者による感謝状贈呈式

以上



本件はSDGs（持続可能な開発目標）の考えに基づいた取り組みのうち、右記の目標に寄与するものです。

